

N  
I  
E  
  
実践校から  
〈3〉

島本町立第一中学校

## 社説読み比べ 読解力鍛える

大阪府島本町の町立第一中学校で4月、共謀罪の構成要件を厳格化した「テロ等準備罪」をテーマに新聞各社の社説を使った参観授業が行われた。各紙の論調を踏まえ、社説を読んだ生徒らが価値判断する内容で、2年生約30人が真剣な表情で臨んだ。

新聞を読むことで幅広く社会に目を向け、自ら課題を見つけ、解決する能力や伝えるための表現力を養ってもらおうと、社会科の一環として実施。本紙の4月7日付朝刊で掲載された「テロ等準備罪」の衆院本会議での審議に関する社説などを教材とした。

事前に各紙の社説を読んできた生徒らは、さっそく意見交換。「北朝鮮のミサイルをはじ



各紙の読み比べを通じて、新聞の面白さを学ぶ生徒たちと飯島知明教諭  
(中央) 島本町立第一中学校

め世界は不安定なので、この法案は重要。今の状況は成立の追い風になると思う」。「まだ起きていない『未来』を取り締まる法律。そこまで国家権力がしぼるのはどうだろうか」など多彩な意見が交わされた。

また担当の飯島知明教諭が生徒に「リード（前文）に内容が要約されている」、「ネットと違い、ひとつの紙面を見るだけで一度に多くの出来事を知ることができる」といった新聞の面白さや知識を紹介した。

当日は国語でも、テロ等準備罪を主題にした本紙社説を教材に、評論文の構造を知る授業が行われた。生徒らは大野晃宏教諭の説明を受けながら、文章中の主張やその根拠、対立意見などを探し出し読解力を鍛えた。

(藤崎真生)